

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

区 分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カラー透視 写真及び写真	図 板	計
地 学	451 ^点	29 ^点	6 ^点	28 ^点	514 ^点
生 物	900	88	77	26	1,091
歴史・民俗	663	29	55	48	795
美 術	405	—	—	7	412
合 計	2,419	146	138	109	2,812

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウの全身骨格（模型）とゾウの進化に関するコーナーを設置。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観得元ジオラマ7景。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 温皇泉地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物と生態と分布を解説展示（ジオラマ）。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 池の生物の生態展示（ミニジオラマ）。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。

- 哺乳類の分類展示。
- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。

＜自然資料紹介コーナー＞

- 鳥取の化石 2年4月1日～5月25日
- 夏鳥の仲間 2年5月26日～7月13日
- 夜間の照明に集まる昆虫 2年7月14日～8月31日
- 太古の海の生きもの 2年9月1日～10月31日
- もみじ一色づくふしぎ 2年11月1日～12月9日
- ガン・カモ科の仲間 2年12月18日～3年2月10日
- 最初に背骨を持った生きものたち 3年2月15日～3月31日

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

＜狩猟から農耕へ＞

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

＜古墳とその時代＞

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわ等本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

＜奈良・平安の因伯＞

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

＜戦乱の時代＞

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。

- 布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。

<士農工商の社会>

- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 大山寺領絵図（模写）・大山牛馬市図など江戸時代の大山寺の解説展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市について展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳、初代県令河田景与の肖像写真パネルの展示。
- 藩から県に移行する時期の行政の日記の展示。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 本県の漁業について、漁具、漁船模型、海女関係民具などを展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器（ほかい）、婚礼に使用された各種のつものなどの展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって動態的に展示。

<歴史の窓>

- 江戸時代のお札 平成2年5月31日～8月23日
- 漂着物の民俗 平成2年8月24日～10月15日
- 鳥取県内の装飾付太刀 平成2年10月16日～12月27日
- 大名家の春 平成3年1月5日～1月31日
- 雪と民具 平成3年2月1日～3月31日

(3) 美術展示室（260㎡）

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料（○印は保護文化財）

<仏像・仏画等>

○大日如来坐像（木造）	若桜町永福寺蔵	○木造狛犬	三朝町湯谷地区蔵
○木喰稲荷像（木造）	倉吉市円谷地区蔵	蔵王権現立像（木造）	岩美町観照院蔵
涅槃図（絹本）	西伯町宝禅寺蔵	毘沙門天立像（木造）	個人蔵
涅槃図（絹本）	鳥取市興禅寺蔵	○釈迦十六善神図	用瀬町大安興寺蔵

涅槃図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵	○不動明王像	智頭町豊乗寺蔵		
<工 芸>					
密教法具	当 館 蔵	懸 仏	個 人 蔵		
備前焼壺	個 人 蔵	染の型紙	個 人 蔵		
○染織布	鹿野町譲伝寺蔵	白磁四耳壺	個 人 蔵		
○擬宝珠（二口）	関金町地藏院蔵	漆芸品	当 館 蔵		
○飾太刀	鳥取市樗谿神社蔵	中国漆芸品	〃		
<近 世 絵 画>					
○雲龍図（双幅）	土方稲嶺	個人蔵	猿之図	土方稲嶺	個人蔵
芦間潜鯉図	〃	当館蔵	山水花鳥図	〃	当館蔵
花下麝香猫図	〃	個人蔵	○群鯉図	黒田稲臯	個人蔵
滝に鳩図	〃	〃	琴棋書画図	根本幽峨	〃
猿鹿図	〃	当館蔵	百大黒図	〃	〃
遊鯉図屏風	黒田稲臯	個人蔵	遊鯉図	小畑稻升	〃
花鳥図屏風	〃	〃	鯉之図	〃	〃
○鯉遊泳図屏風	〃	〃	東方朔図	片山楊谷	〃
東海道中図屏風	島田元旦	〃	風俗図巻（写）	伝英一蝶	〃
花鳥図	〃	〃	芳野山春景図	沖 探容	〃
青緑山水図	〃	〃	浪兔図	〃	〃
竹鷄図	〃	〃	蓮池舟遊図屏風	狩野益信	〃
月夜訪孔明図	〃	〃	舞妓図	沖 一蛾	〃
青緑山水図	〃	当館蔵	諸葛孔明図	沖 九臯	〃
楼閣山水図	根本幽峨	個人蔵			
<近 代 彫 刻>					
つどい	長谷川塊記	当館蔵	非化Q	辻 晉堂	個人蔵
裸	早川巍一郎	〃	寒山	〃	〃
寒 拾	辻 晉堂	個人蔵	拾 得	〃	当館蔵
鶏と女	〃	〃	詩人（大伴家持試作）	〃	個人蔵

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

ア 前田寛治 ―素描と油彩―

会 期 平成2年5月22日(火)～8月26日(日)

近代日本洋画史上に重要な位置を占める前田寛治の初期から晩年にいたる油彩と、それに関連した素描を併せて展示し、独自の写実理論を掲げた前田寛治の芸術性を紹介した。

<出品目録>

番号	作 品 名	制作年	大きさ (cm)	素 材	所 蔵
【東京美術学校卒業前後の作品】					
1	山陰の家並	1917	23.9×33.0	油彩・板	鳥取県立博物館
2	子 供	1920頃	33.0×23.6	油彩・板	
3	男 の 横 顔	1920頃	33.0×23.9	油彩・板	
4	麦わら帽の子	1920頃	23.7×33.4	油彩・板	
5	花と子供等	1921	80.5×117.0	油彩・キャンバス	
6	母 と 子	1920頃	33.5×45.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
7	花による子供	1921	45×60.8	油彩・キャンバス	
8	畑	1921頃	23.3×33.0	油彩・板	
9	ダ リ ャ	1922頃	60.8×50.2	油彩・キャンバス	
10	立てる子供	1922	116.7×80.5	油彩・キャンバス	
11	子 供 の 像	1921	33.0×24.0	油彩・板	
12	子 供	1921	33.5×45.0	油彩・キャンバス	
【滞欧中（1923－1925）の作品】					
13	パ リ 風 景	滞欧中	45.6×60.7	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
14	メ ー デ ー	滞欧中	72.8×91.0	油彩・キャンバス	
15	工 場 風 景	滞欧中	53.5×80.3	油彩・キャンバス	
16	静 物	滞欧中	45.8×60.6	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
17	工 場 内 部	滞欧中	73.0×60.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
18	労 働 者	滞欧中	60.0×49.0	油彩・キャンバス	
19	少 女	滞欧中	44.5×33.0	油彩・キャンバス	
20	労 働 者	滞欧中	72.7×60.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
21	赤い帽子の少女	滞欧中	61.5×45.0	油彩・キャンバス	
22	赤えりセーターの男	滞欧中	45.5×38.0	油彩・キャンバス	
23	西洋婦人像	滞欧中	60.6×50.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
24	彫刻家の肖像	滞欧中	114.0×81.0	油彩・キャンバス	
25	立っている労働者	滞欧中	162.2×93.0	油彩・キャンバス	
26	ブルターニュの女	滞欧中	166.2×97.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
27	労 働 者	滞欧中	117.0×91.0	油彩・キャンバス	
28	物を喰う男	滞欧中	116.7×91.0	油彩・キャンバス	
29	繃帯をした男	滞欧中	73.0×50.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
30	西洋婦人像	滞欧中	92.0×73.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館

【帰国後の大作】

31	仰臥裸婦	1926	112.0×145.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
32	少女と子供	1927	145.0×112.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
33	棟梁の家族	1928	129.0×161.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
34	横臥裸婦	1928	97.0×162.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
35	伏臥裸婦	1928	113.0×146.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
36	裸婦	1926頃	73.0×100.0	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
37	少女座像	1927	116.1×90.7	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
38	福本和夫像	1927	91.0×72.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
39	白い服の少女	1928	73.0×60.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館

【裸婦と晩年の作品】

40	肘をつく横臥裸婦	滞欧中	46.0×61.0	油彩・キャンバス	
41	裸婦	滞欧中	99.7×72.5	油彩・キャンバス	
42	裸婦習作	1927頃	51.0×73.5	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
43	自画像	1926頃	45.5×33.3	油彩・キャンバス	鳥取県立博物館
44	花	1929	45.5×38.0	油彩・キャンバス	
45	ふたりの子供	1929頃	23.8×33.0	油彩・キャンバス	
46	童顔習作	1930	22.7×15.7	油彩・板	
47	海	1930頃	16.0×23.0	油彩・板	
48	作品	1930	53.0×45.5	油彩・キャンバス	
49	裸婦	1928	38.5×46.5	油彩・キャンバス	
50	椅子にかける裸婦	1927	53.5×41.0	油彩・キャンバス	
51	裸婦	1928	45.5×53.0	油彩・キャンバス	
52	赤い帽子の少女	1927頃	33.3×24.0	油彩・板	
53	静物	1928頃	45.0×38.0	油彩・板	
54	海	1929	24.0×33.0	油彩・板	

【素描】

55 ～ 105

美術学校卒業前後の子供や婦人を描いた素描、渡航中のクレパスによる風景画、滞欧中のパリの風景や労働者を描いた鉛筆スケッチ、帰国後の大作の下絵などを前記と後期に分けて展示。

イ 大淵晴雄の水彩画

会 期 平成2年11月17日(土)～12月16日(日)

書家として活躍した大淵晴雄(1909-1975)が昭和10年ごろに描いた水彩画を展示し、その作品をとおして美術にかけた青春時代の情熱のあとを紹介した。

<出品目録>

作 品 名	制 作 年	大 き さ (cm)
1 (風 景)	1923年(大正12)	37.4×50.5
2 (風 景)	大正末～昭和初	58.6×75.8
3 (風 景)	大正末～昭和初	37.8×49.6
4 (風 景)	大正末～昭和初	43.8×56.2
5 (風 景)	大正末～昭和初	43.7×57.5
6 (風 景)	大正末～昭和初	38.3×50.5
7 (風 景)	大正末～昭和初	40.2×48.5
8 (風 景)	1924年(大正13)	29.0×38.0
9 (風 景)	1925年(大正14)	57.5×73.3
10 (女 生 徒)	1930年頃(昭和5)	44.0×34.7
11 (花)	1931年(昭和6)	45.7×34.2
12 (静 物)	1931年(昭和6)	34.3×50.5
13 (風 景)	1932年(昭和7)	41.3×52.4
14 (風景・校舎)	1932年(昭和7)	42.3×58.5
15 (風 景)	1932年頃(昭和7)	58.6×75.8
16 (風 景)	1932年頃(昭和7)	58.3×75.5
17 (風 景)	1933年(昭和8)	41.2×51.8
18 風 景 B	1933年(昭和8)	58.4×75.7
19 山	1934年(昭和9)	58.4×75.5
20 (風 景)	1934年(昭和9)	58.1×75.3
21 (四 っ 手 網)	1934年(昭和9)	57.5×74.7
22 (風 景)	1934年(昭和9)	58.1×75.5
23 (風 景)	1934年頃(昭和9)	58.6×75.8
24 (風景・山陰海岸)	1934年頃(昭和9)	57.8×73.4
25 (風景・山陰海岸)	1934年頃(昭和9)	51.0×68.5
26 静 物	1934年頃(昭和9)	58.5×75.5
27 (風景・山陰海岸)	1934年頃(昭和9)	49.9×76.3
28 (風景・山陰海岸)	1934年頃(昭和9)	57.7×73.4
29 (溪 流)	1935年(昭和10)	58.3×75.5
30 (風 景)	1935年(昭和10)	58.5×75.6
31 拓 く 峠	1935年(昭和10)	57.8×73.4
32 (風 景)	1935年(昭和10)	57.7×73.3
33 (風景・建設現場)	1935年頃(昭和10)	58.3×75.5

34	月早草咲く川岸	1935年頃（昭和10）	59.5×76.3
35	溪 流	1935年頃（昭和10）	59.5×75.0
36	（風 景）	1936年（昭和11）	59.2×74.9
37	（風 景）	1936年（昭和11）	59.7×75.4
38	か く れ 里	1936年（昭和11）	59.2×75.6
39	（風 景）	1936年頃（昭和11）	59.6×75.3
40	（風 景）	1936年頃（昭和11）	52.5×58.6
41	（風 景）	1936年頃（昭和11）	58.6×75.5
42	（風 景）	1936年頃（昭和11）	59.9×75.5
43	（風 景・校 門）	1936年頃（昭和11）	36.1×46.6
44	紅 葉 の 村	1937年（昭和12）	59.7×76.5
45	砂 丘	1937年（昭和12）	59.3×76.2
46	溪 流	1937年頃（昭和12）	59.2×76.1
47	（風 景）	1937年頃（昭和12）	57.8×73.5
48	（紅 葉 の 村）	1937年頃（昭和12）	59.5×74.9
49	（風 景）	1937年頃（昭和12）	57.0×76.5
50	梨 花 園	1937年頃（昭和12）	59.5×76.3

※（ ）内は、題名の記してなかった作品

ウ 砂丘 ―描かれた砂丘・写された砂丘―

会 期 平成3年1月5日(土)～3月10日(日)

四季おりおり、あるいは、一日のうちにおいても、いくつもの表情を見せる「砂丘」を作家たちはどのようにとらえてきたのか、さまざまな分野の作品を紹介し、砂丘に対する認識を深めていただいた。

<出 品 目 録>

番号	作家名	作 品 名	制 作 年	大きさ(cm)	所 蔵
【写 真】					
1	岩佐 保雄	浜 坂 の 黎 明		18.7×29.1	
2	岩佐 保雄	浜 村 の 印 象	1930年（昭和5）	15.3×29.8	米子市美術館
3	塩谷 定好	砂 丘	1923年（大正12）	26.0×34.0	
4	塩谷 定好	砂 丘	1925年（大正14）	30.0×37.5	
5	塩谷 定好	砂丘（オアシス）		71.0×92.0	
6	塩谷 定好	砂 丘（花）		29.2×37.5	
7	塩谷 定好	砂 丘	1924年（大正13）	26.7×44.5	
8	植田 正治	少 女 四 態	1939年（昭和14）	17.8×42.0	
9	植田 正治	ボクのわたしのお母さん	1950年（昭和25）	24.5×39.2	米子市美術館
10	植田 正治	砂 丘 群 像	1990年（平成2）	106.0×335.0	岸 本 町
11	植田 正治	砂 丘 人 物 I	1990年（平成2）	103.0×73.0	岸 本 町
12	植田 正治	砂 丘 人 物 II	1990年（平成2）	103.0×73.0	岸 本 町
13	田賀 久治	砂 丘（雪）	1960年頃（昭和35）	59.8×97.0	

14	田賀 久治	砂 丘 (風紋)	1960年頃 (昭和35)	79.0×60.0	
15	田賀 久治	砂 丘 (風)	1960年頃 (昭和35)	60.0×76.0	

【油 彩 画】

1	安岡 信義	十六本松風景		53.0×73.0	鳥取酒造組合
2	松田 晃八	山陰風景 (砂丘ノ見ヘル風景)	1930年 (昭和5)	72.0×91.0	富 桑 小 学 校
3	松田 晃八	暮 れ る 砂 丘	1949年 (昭和24)	73.0×100.0	鳥取地方検察庁
4	松田 晃八	砂 丘		72.8×60.6	ふ そ う 銀 行
5	松田 晃八	砂 丘		80.3×130.3	鳥取県立博物館
6	尾崎梯之助	砂 丘	1951年 (昭和26)	45.5×60.0	
7	尾崎梯之助	砂 防 垣 と 雪	1959年 (昭和34)	90.8×116.5	
8	尾崎梯之助	雲 と 砂 防 垣	1968年 (昭和43)	91.0×116.0	鳥取県立博物館
9	尾崎梯之助	漁 港 の 夕 暮	1953年 (昭和28)	116.5×91.0	鳥取県立博物館
10	笹鹿 彪	砂 丘	1973年 (昭和48)	112.2×145.5	鳥取県立博物館
11	香田 勝太	弓ヶ浜半島を望む	1912年 (大正1)	23.0×33.5	
12	山榊寅二郎	曇 り 日	1936年頃 (昭和11)	53.0×72.0	
13	中井 金三	泊 砂 丘	1925年頃 (大正14)	60.0×80.2	倉 吉 博 物 館
14	前田 寛治	花 と 子 供 等	1921年 (大正10)	80.5×117.0	鳥取県立博物館

【日本画・版画・詩】

1	根本 幽峨	山水図 (賀露港・浜坂砂丘)	江戸時代末期	屏風六曲一双	
2	橋本 秀峰	因伯名勝絵巻	江戸時代末期	画 巻	鳥取県立博物館
3	菅 盛南	千代川河口・賀露	1891年 (明治24)	画 帖	倉 吉 博 物 館
4	西垣 風江	残 雪	1968年 (昭和43)	79.0×115.0	
5	橋本 興家	鳥取砂丘「朝」	1967年 (昭和42)	60.0×49.0	鳥取県立博物館
6	橋本 興家	砂 丘 新 雪	1968年 (昭和43)	59.5×48.0	鳥取県立博物館
7	橋本 興家	砂 丘 早 春	1968年 (昭和43)	59.5×48.5	鳥取県立博物館
8	橋本 興家	砂 丘 I	1966年 (昭和41)	60.0×49.0	鳥取県立博物館
9	河本 緑石	砂丘社の歌 (一)		軸	
10	河本 緑石	砂丘社の歌 (二)		軸	

【記 録】

スペース・プランNo.2 (作品の写真)	1969年 (昭和44)
----------------------	--------------

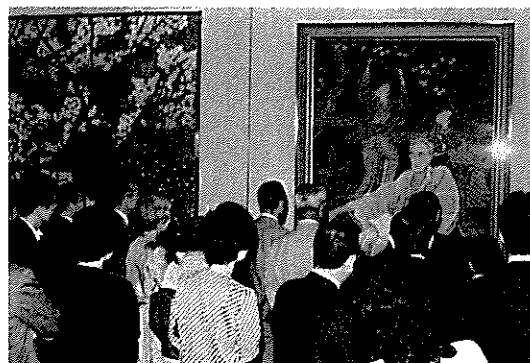
【鳥取県以外の作家】

1	山下 清	鳥 取 砂 丘	1956年 (昭和31)	30.2×39.7	鳥取民芸美術館
2	バーナード・リーチ	鳥取大砂丘 (追後播鉢)	1953年 (昭和28)	46.7×53.5	鳥取民芸美術館
3	バーナード・リーチ	鳥 取 大 砂 丘	1953年 (昭和28)	14.7×23.3	鳥取民芸美術館
4	バーナード・リーチ	鳥取大砂丘 (多鯰ヶ池)	1953年 (昭和28)	14.5×23.3	鳥取民芸美術館
5	宇治山哲平	砂 丘		22.3×27.3	
6	井上長三郎	砂 丘	1933年 (昭和8)	31.8×41.0	
7	飯田 操朗	砂 丘	1935年 (昭和10)	21.8×27.0	
8	中山 巍	ふ た り	1934年 (昭和9)	24.0×33.5	

2 特 別 展

(1) 濱田台児展

会 期 平成2年4月28日(土)～5月20日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 入館料 一般500円(400円)、高校生300円(250円)
 小・中学生200円(150円)
 [()は団体料金]



平成2年に日本芸術院会員となられた、鳥取県気高町出身の日本画家・濱田台児氏の代表作を展示し、その優れた業績を紹介した。

<関連行事>

特別講演会

期 日 平成2年4月28日(土)
 演 題 日本画について
 講 師 日本芸術院会員 濱田 台児氏

<出品目録>

番号	作 品 名	制 作 年	大きさ (cm)	形状	所 蔵
1	黄 流	昭和17年(1942)	195.0×180.0	額装	赤坂プリンスホテル
2	夢 殿	昭和21年(1946)	210.0×300.0	額装	
3	父 の 肖像	昭和25年(1950)	184.8×94.0	額装	
4	校 倉	昭和26年(1951)	148.0×162.0	額装	
5	澗 泉	昭和26年(1951)	213.0×158.0	額装	浜村小学校
6	溪	昭和29年(1954)	200.0×130.0	額装	
7	雨 池	昭和30年(1955)	191.0×136.0	額装	米子市美術館
8	雨 池	昭和30年(1955)	96.0×64.0	額装	
9	海 女	昭和36年(1961)	123.0×210.0	額装	鳥取県立博物館 米子市美術館
10	海 女	昭和37年(1962)	175.2×126.3	額装	
11	海 女 船	昭和39年(1964)	135.0×232.0	額装	
12	舞 妓	昭和40年(1965)	145.5×112.1	額装	
13	野 分	昭和42年(1967)	130.3×193.9	額装	鳥取県立博物館 米子市美術館
14	錦 秋	昭和42年(1967)	54.0×96.4	額装	
15	宵 の 梅	昭和42年(1967)	116.7×90.9	額装	
16	旦		180.0×225.0	額装	
17	襦 袢 の 女	昭和44年(1969)	228.8×169.1	額装	
18	裏 千 家 夫 人 像	昭和46年(1971)	205.0×152.0	額装	
19	チュールップ	昭和46年(1971)頃	65.1×53.0	額装	
20	孔 雀	昭和47年(1972)	73.0×61.0	額装	
21	高 橋 先 生 像	昭和48年(1973)	202.0×152.0	額装	
22	芭 蕉 布	昭和49年(1974)	211.0×171.0	額装	
23	冬 一 旦	昭和49年(1974)	65.2×90.9	額装	

番号	作 品 名	制 作 年	大 き さ (cm)	形 状	所 蔵
24	春 一 花 蔭	昭和49年 (1974)	65.2×90.9	額装	鳥取県立博物館
25	夏 一 川 音	昭和49年 (1974)	72.7×90.9	額装	
26	秋 一 野	昭和49年 (1974)	60.6×72.7	額装	
27	紗	昭和50年 (1975)	133.6×189.7	額装	
28	花 容	昭和51年 (1976)	178.8×131.2	額装	
29	天 鈿 女 命	昭和52年 (1977)	220.0×165.0	額装	新橋演舞場
30	鶴の巢籠を舞ふ玉三郎	昭和53年 (1978)	214.3×163.8	額装	
31	女 辯 護 士	昭和54年 (1979)	221.0×151.0	額装	鳥取県立博物館
32	萩 原 尊 禮 先 生 像	昭和55年 (1980)	184.0×150.0	額装	鳥取県立博物館
33	加 茂 川	昭和55年 (1980)	62.3×51.0	額装	
34	九 曲	昭和56年 (1981)	214.0×154.0	額装	松岡美術館
35	虞 姫	昭和57年 (1982)	230.0×170.0	額装	
36	曙	昭和57年 (1982)	60.0×40.0	額装	那須ロイヤル美術館
37	マ サ イ の 少 女	昭和58年 (1983)	160.0×221.0	額装	
38	御 座 所 の 桜	昭和58年 (1983)	240.0×720.0	屏風	
39	舞 妓	昭和58年 (1983)	74.2×51.7	額装	
40	あ や と り	昭和58年 (1983)	68.5×56.5	額装	
41	牡 丹	昭和58年 (1983)	83.2×59.8	額装	
42	あ や と り	昭和58年 (1983)	87.7×117.5	額装	
43	賜 浴	昭和59年 (1984)	206.5×150.0	額装	
44	妃 と 実	昭和60年 (1985)	179.0×210.0	額装	
45	春 秋	昭和61年 (1986)	225.0×147.0	額装	
46	雙 鼓	昭和61年 (1986)	61.0×91.5	額装	山種美術館
47	段 上 の 河 北 先 生	昭和62年 (1987)	237.5×151.0	額装	
48	楽 園	昭和63年 (1988)	234.5×135.5	額装	
49	富 貴 花	昭和63年 (1988)	69.5×91.2	額装	
50	新 秋	平成元年 (1989)	65.0×54.0	額装	

デ ッ サ ン		
1 雛	12 トンボ	23 御座所の桜
2 舞 妓	13 光堂内陣	24 マサイの少女
3 舞 妓	14 ギリシアの遺跡	25 マサイの家族 (父)
4 舞 妓 (かよ子)	15 稲佐の浜 (国譲りの浜)	26 マサイの家族 (母)
5 屑の梅	16 舞 妓 (佳つ乃)	27 マサイの家族 (少女)
6 鶴の来る里	17 舞 妓 (初 姿)	28 姫 (李玉英)
7 広目天王	18 舞 妓 (浴衣姿)	29 白蛇伝 (葉紅珠)
8 重文 嚴星の兜	19 舞 妓 (その恵)	30 三保の富士
9 飛鳥の門	20 舞 妓 (はる恵)	31 中村勘九郎夫人
10 澗 泉	21 レニングラードの泉	32 河北倫明先生
11 鶴鴿の子	22 モスクワの少女	33 鶴

(2) 卑弥呼の時代をさぐる

～発掘が語る弥生時代～

会 期 平成2年7月27日(金)～8月26日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 協 力 NHK鳥取放送局
 入館料 一般500円(400円)
 高校生300円(250円)
 小・中学生200円(150円)



〔()は団体料金〕

全国各地で行われている発掘調査によって次々と新しい事実が明らかになっているが、こうした発掘調査によって得られた資料を基にして、弥生時代の文化を紹介した。

<関連事業>

ア 特別講演会(1)

期 日 平成2年7月28日(土)
 演 題 弥生時代と現代
 講 師 奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター
 研究指導部長 佐 原 眞 氏

イ 特別講演会(2)

期 日 平成2年8月18日(土)
 演 題 稲作文化の起源と伝来
 講 師 国立民族学博物館 第二研究部長
 教 授 佐々木 高 明 氏

ウ 人文講座

期日	テーマ
8月5日、19日	弥生の土笛を作ろう
8月11日	鳥取県の弥生文化
8月12日	草木で染める

<出品目録>

所 蔵 者	資 料 名 ()内は点数	数量
文 化 庁	〔重要文化財〕 検見谷遺跡出土3号・4号・12号銅矛(3) 〔重要文化財〕 吉武樋渡遺跡75号甕棺墓出土細形銅剣(1)、青銅製十字形把頭飾(1)、77号甕棺墓出土細形銅剣(1)、単独出土細形銅剣(1)、61号甕棺墓出土鉄剣(1) 〔重要文化財〕 荒神谷遺跡出土1号・4号・5号銅鐙(3)、1号・9号・10号・13号銅矛(4)、銅剣(2)	17

所 蔵 者	資 料 名 () 内は点数	数量
東京国立博物館	鳥取県東伯郡泊村大字小浜字池ノ谷231出土品流水文銅鐸及び銅舌(3)、山口県下関市大字富任字久保出土品一括のうち多鈕細文鏡(1)・銅劍(2)、模造有柄細形銅劍(1) (原品：山口県大津郡油谷町大字向津具下3539出土)、出土地不詳漢時代ガラス璧(1)、伝慶尚南道出土多鈕細文鏡(1)、伝楽浪古墳出土方格規矩渦文鏡(1)、伝慶尚北道尚州出土銅矛(1)、伝楽浪古墳出土金銅製蓋弓帽(1)、楽浪郡関係遺物金銅製四葉文装具(1)、朝鮮平安南道平壤付近出土細形銅劍(1)、慶尚南道金海郡金海出土磨製石鏃(3)、忠清南道扶余郡扶余出土磨製石劍(1)、朝鮮半島出土挾入石斧(1)、朝鮮半島南部出土磨製石包丁(1)	20
静岡市立登呂博物館	登呂遺跡出土後期弥生土器壺(1)甕(1)碗形土器(1)・布巻具(3)・腰当て具(1)・布片(一括)・木製容器(3)・火きり弓〔複製〕(1)・火きり臼〔複製〕(1)・梯子(1)・ネズミ返し部材(1)・矢板(3)・高環形木製品部材(3)・浮子(4)・有溝石錘(1)・灼骨(1)・銅環(1)	29
袋井市教育委員会	鶴松遺跡・山下遺跡出土中期弥生土器壺(2)甕(2)	4
愛知県教育委員会	朝日遺跡出土前期弥生土器壺(2)甕(2)鉢(1)・石包丁(1)・パレススタイル土器(3)・円窓土器(1)・手焙形土器(1)	11
財団法人愛知県埋蔵文化財センター	朝日遺跡出土中期弥生土器壺(1)甕(2)高環(1)台付鉢(1)・ト骨(1)・モリ(3)・ヤス(3)・ゆはず(1)・月の輪熊の歯ペンダント(1)・猪牙の垂飾(2)・骨製かんざし(1)・鳥形木製品(1)・平鍬(1)・鋤(1)・馬鍬(1)・ホーク状木製品(1)	22
大阪市教育委員会	加美遺跡Y-1号墳丘墓出土把手付高環(1)・器台(1)・大形鉢(1)・墳丘模型(1)、瓜破北遺跡S X12出土方格規矩鏡片〔複製〕(1)・内行花文鏡片〔複製〕(1)	6
財団法人大阪文化財センター	亀井遺跡出土貨泉(4)・タコ壺(6)・銅鐸形土製品(2)・分銅形土製品(1)・後期弥生土器壺(1)甕(1)高環(1)器台(1)、瓜生堂遺跡出土中期弥生土器壺(1)甕(1)高環(1)水差形土器(1)・銅戈(1)、巨摩廃寺遺跡出土貨泉(1)・ガラス勾玉(1)・ガラス玉(7)・管玉(2)・銅釧(1)・木棺(1)、新家遺跡出土臼(1)	36
東大阪市教育委員会	山賀遺跡出土前期弥生土器壺(2)甕(2)・石包丁(1)・腕輪(1)、瓜生堂遺跡出土ゆはず(1)・かんざし(1)	8
財団法人東大阪市文化財協会	鬼虎川遺跡出土鋤〔複製〕(1)・木包丁(1)・杵(1)・樺巻打製石劍(1)・弓(1)・腕輪(1)・銅鐸鑄型(1)・銅釧鑄型(1)・銅鐸形土製品(1)・軸付紡錘車(1)	10
神戸市教育委員会	〔国宝〕桜ヶ丘遺跡出土1・3・4・5号銅鐸〔1・5号複製〕	4
尼ヶ崎市教育委員会	田能遺跡出土布圧痕土器片(2)・銅釧(1)・管玉(一括)・織機模型(1)	5

所 蔵 者	資 料 名 () 内は点数	数量
財団法人北九州市 教育文化事業団	八幡西区辻田遺跡出土石剣未製品(2)・石戈未製品(3)	5
春日市教育委員会	赤井手遺跡出土鉄製手鎌(1)・銅製鋤先(1)・ガラス勾玉鑄型〔複製〕(1)、大谷 遺跡出土石戈(1)、岡本遺跡出土小銅鐸鑄型〔複製〕(1)、須玖永田遺跡出土鏡 鑄型〔複製〕(1)	6
小郡市教育委員会	横隈鍋倉遺跡出土有柄式磨製石剣(1)・朝鮮系無文土器(2)、三国の鼻遺跡出土 朝鮮系無文土器(2)内〔牛角形把手付壺(1)〕、三沢栗原遺跡出土鉄製鋤先(1)・ 手鎌(1)、大板井遺跡出土鉄斧(1)・鉄鎌(1)、横隈狐塚遺跡出土銅鏡(1)	10
夜須町教育委員会	七板遺跡出土丹塗土器(6)	6
佐賀県教育委員会	吉野ヶ里遺跡出土中期土期(3)・有柄把頭飾銅剣〔複製〕(1)・巴形銅器鑄型 〔複製〕(1)・細形銅矛鑄型(1)・細形銅剣〔複製〕(1)・銅製把頭飾〔複製〕(1)・ 磨製石剣(1)・骨鎌(1)・イモ貝製腕輪〔複製〕(1)・ガラス製管玉〔複製〕(一 括)、志波屋六本松遺跡出土甕棺(2)	14
佐賀県立博物館	〔重要文化財〕肥前唐津市桜馬場遺跡出土品有駒銅釧(3)・巴形銅器(3)・方格 規矩四神鏡(1)	7
唐津市長野副豊	〔唐津市重要文化財〕松浦川底出土有柄式磨製石剣(1)	1
唐津市教育委員会	菜畑遺跡出土縄文土器壺(1)彩文土器(1)浅鉢(1)深鉢(1)・石包丁(1)・挟入石斧(1)・ 扁平片刃石斧(1)・磨製石剣(1)・磨製石鎌(1)・骨鎌(1)・諸手鎌(2)・装身具(一 括)・炭化米(一括)	14
唐津市宇木区	〔重要文化財〕肥前唐津市宇木出土品細形銅剣(2)・狭鋒銅矛(2)	4
大和町教育委員会	惣座遺跡出土銅矛鑄型(1)・銅剣鑄型(1)・指輪(3)・ガラス小玉(一括)	6
N H K 佐賀放送局	吉野ヶ里遺跡模型(1)	1
田原本町教育委員会	唐古・鍵遺跡出土前期弥生土器壺(2)甕(2)石包丁(1)・中期弥生土器壺(2)甕(1)高 坏(1)氷差形土器(1)・後期弥生土器壺(1)甕(2)高坏(1)・鞘入り打製石剣〔複製〕 (1)・石斧(1)・布片(一括)・炭化米(一括)	18
島根県教育委員会	西川津遺跡出土前期弥生土器壺(2)甕(1)・扁平片刃石斧(1)・挟入石斧(1)・蛤刃 石斧(1)・石鎌(2)・石剣(1)・石鎌(5)・釣針(5)・刺突具(2)・ヤス(1)・オコシ(1)・ ゴホウラ製腕輪(1)・炭化米(一括)・漆塗土器壺(2)・貝類(一括)・石包丁 (1)・広鎌(1)・狭鎌(1)・鋤(1)・木製鉢(1)・柄杓(1)・石斧柄(1)・石鍾(1)、タテチョ ウ遺跡出土前期弥生土器壺(2)鉢(1)・中期弥生土器壺(1)甕(1)・分銅形土製品(1)・ 土笛(4)、布田遺跡出土銅鐸形土製品(1)	47

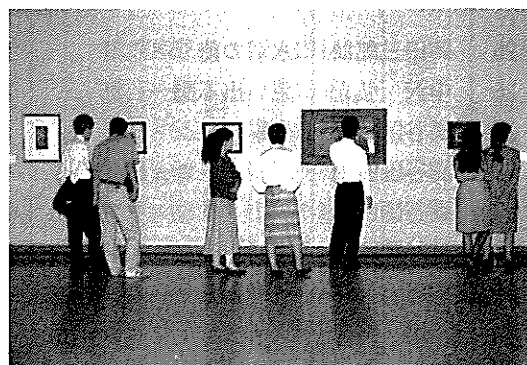
所 蔵 者	資 料 名 () 内は点数	数量
島根大学法文学部 考古学研究室	西谷3号墓出土壺・甕・器台・高坏・把手壺(9)・管玉(10)	19
岡山県立博物館	宮山遺跡出土特殊器台(1)	1
岡山県古代吉備 文化財センター	百間川原尾島遺跡出土前期弥生土器壺(1)・後期弥生土器壺(1)甕(1)高坏(1)器台(1)台付長頸壺(1)・製塩土器(7)・銅鐸形土製品(2)・内行花文鏡(1)、百間川沢田遺跡出土前期弥生土器壺(1)甕(2)・縄文土器深鉢(2)・磨製石包丁(1)、百間川今谷遺跡出土中期弥生土器壺(1)甕(1)高坏(1)水差形土器(1)注口付台付鉢(1)・打製石包丁(3)ガラス溶滓(一括)、百間川兼基遺跡出土人形土製品(1)・分銅形土製品(1)、加茂B遺跡出土ト骨(1)・櫛歯文鏡(1)蕨手状渦文鏡(1)、矢部南向遺跡出土小銅鐸(1)、津島江道遺跡出土刻骨(1)、雄町遺跡出土分銅形土製品(3)、上東遺跡出土分銅形土製品(1)	42
山口県教育委員会	土井ヶ浜遺跡出土貝輪(1)、宮ヶ久保遺跡出土銅鐸形木製品(1)・武器形木製品(5)・動物形木製品(3)、綾羅木郷台地遺跡出土人面土製品(1)	11
下関教育委員会	地藏堂遺跡出土蓋弓帽〔複製〕(1)、綾羅木郷遺跡出土前期弥生土器壺(2)甕(2)・石包丁(1)・石鎌(2)・土笛(2)・炭化米(一括)	11
福岡県教育委員会	曲り田遺跡出土丹塗磨研壺(1)把手付甕(1)甕(1)・蛤刃石斧(1)・扁平片刃石斧(1)・柱状片刃石斧(1)・石包丁(1)・磨製石鎌(1)、白玄社遺跡出土磨製石鎌(5)、門田遺跡出土鉄戈(1)・鉄剣(1)、三雲南小路遺跡1号甕棺出土ガラス璧(1)・ガラス管玉(5)・金銅四葉座飾金具(1)、三雲南小路遺跡2号甕棺出土連弧文「日光」銘鏡(1)・星雲文鏡(1)・ガラス勾玉(2)・硬玉製勾玉(1)・ガラス垂飾(1)	28
福岡市教育委員会	板付遺跡出土縄文晩期土器(2)深鉢(1)浅鉢(1)・炭化米(一括)・前期弥生土器甕(2)甕(2)・石包丁(2)、諸岡遺跡出土ゴホウラ製腕輪(2)、福岡市志賀島出土金印〔複製〕(1)及び真印拓影(1)、中原遺跡出土鉄斧(1)・鉄鎌(1)・鉄製鋤先(1)、宝満尾遺跡出土素環頭刀子(1)、宮ノ前遺跡出土鉋(1)、カルメル修道院内遺跡出土銅釧(2)、小葎遺跡出土碇石(2)・石錘(3)、赤穂ノ浦遺跡出土銅鐸鑄型(1)、拾六町ツイジ遺跡出土諸手鍬(1)・杵(1)・槌(1)・杵(1)・石斧柄(1)・弥生後期土器壺(2)甕(2)、比恵遺跡出土弥生中期土器壺(2)甕(2)、今山遺跡出土磨製石斧製作工程資料(4)	45
財団法人鳥取県教育 文化財団鳥取県埋蔵 文化財センター	秋里遺跡出土後期弥生土器甕(2)器台(1)注口土器(1)スタンプ文土器(1)・鏡片(1)	6
鳥取市教育委員会	岩吉遺跡出土後期弥生土器甕(2)台付壺(2)小壺(1)注口土器(1)器台(1)・磨石(2)・砥石(1)、天神山遺跡出土鎌(2)	12

所 蔵 者	資 料 名 () 内は点数	数量
米子市教育委員会	目久美遺跡出土前期弥生土器壺(1)甕(1)・中期弥生土器甕(2)・鋤(1)・平鍬(1)・大足(2)・槌(1)・容器(1)・木鍬(3)・柱根(1)・木包丁(1)・分銅形土製品(1)・土笛(1)・土製品(1)・漆塗土器(4)・石包丁(2)、池ノ内遺跡出土鋤(2)・田下駄(3)・田舟(1)・梯子(1)・鉄斧柄(1)・木包丁(1)・かんざし(1)・編み物の片(1)・桶(1)・手網杵(1)・鳥形土製品(1)・鳥形木製品(1)、青木遺跡出土中期弥生土器無頸壺(1)甕(1)・後期弥生土器器台(1)・管玉(1)・銅鏡(1)・石斧(1)・石包丁(1)・石錘(1)、東宗像遺跡出土磨製石剣(1)	48
倉吉博物館	大谷・後口谷墳丘墓出土弥生土器壺(2)甕(1)高坏(1)鉢(1)器台(1)、後中尾遺跡出土弥生土器壺(2)甕(2)高坏(1)・石包丁(2)・環状石斧(1)・分銅形土製品(2)、福田寺遺跡出土大型石包丁(1)、阿弥大寺1号墳丘墓出土弥生土器壺(3)甕(2)器台(1)、阿弥大寺1号居住跡出土分銅形土製品(1)、小田2号銅鐸(1)	25
郡家町教育委員会	万代寺遺跡出土中期弥生土器甕(5)壺(1)・石斧(2)・石包丁(2)・管玉(1)	11
東郷町教育委員会	北福出土小銅鐸(1)	1
羽合町教育委員会	長瀬高浜遺跡出土前期弥生土器甕(1)壺(3)鉢(1)・石斧(7)・紡錘車(5)・土錘(3)・小銅鐸(1)・巴形銅器(1)・前期弥生土器棺(2)・管玉(一括)・玉作関係品(一括)・銅釧(1)	27
大栄町教育委員会	大谷第1遺跡出土前期弥生土器甕(3)壺(1)、青木第2遺跡出土丹塗土器(1)、青木第4遺跡出土鉄製品(8)、西高江遺跡出土玉作関係品(一括)	14
東伯町教育委員会	森藤第1・森藤第2遺跡他出土後期弥生土器甕(1)壺(1)脚付甕(1)注口土器(1)器台(2)・鉄斧(1)・田越出土銅剣(1)	8
淀江町教育委員会	角田遺跡出土絵画土器(1)	1
溝口町教育委員会	下山南通遺跡出土中期弥生土器壺(4)甕(1)・紡錘車(3)・石槍(1)・石包丁(1)・石斧(1)・鉄鍬(1)、長山馬籠遺跡出土中期土器壺(1)甕(1)高坏(2)・鉄斧(2)・鉄鋳(2)	23
佐々木古代文化研究所	晩田遺跡出土石錘(2)、北灘遺跡出土分銅形土製品(1)	3
遠所和夫	荒神谷遺跡出土銅鐸〔複製〕(2)・銅剣〔複製〕(1)・銅鐸鋳型(1)・銅剣(1)	5
森本節夫	高住出土銅鐸(1)	1
秋田和久	挟人石斧(1)	1
安富温子	田越出土銅剣(1)	1

所 蔵 者	資 料 名 () 内は点数	数量
田 中 実	磨製石剣(1)	1
田 中 千 里	銅鏃(1)	1
鳥 取 県 立 博 物 館	木製高坏〔複製〕(1)、鉄斧〔複製〕(2)、刀子〔複製〕(2)、手鏃〔複製〕(1)、 鏃〔複製〕(1)、鋤先〔複製〕(1)、東伯郡東郷町出土家型土器(1)、岩吉遺跡出 土水差形土器(1)、鳥取市越路出土銅鐸(1)、郡家町下坂出土銅鐸(1)	12

(3) 石橋美術館名品展 ～ 青木繁と近代洋画の巨匠たち ～

会 期 平成2年10月5日(金)～11月4日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 協 力 石橋財団 石橋美術館
 入館料 一般700円(600円)、高校生500円(400円)
 小・中学生300円(200円)
 (())は団体料金



石橋美術館(久留米市)が所蔵する日本近代洋画の名品の中から青木繁と坂本繁二郎を中心に、日本近代洋画を彩った巨匠たちの作品を紹介した。

<関連行事>

特別講演会

期 日 平成2年10月6日(土)
 演 題 日本近代洋画のあけぼの
 講 師 ブリヂストン美術館 館長 嘉門 安雄氏

<出品目録>

番号	作者名	作品名	材質	大きさ(cm)	制作年	備考
1	中丸精十郎	瀑	油彩・画布	107.6×70.2	1890	重要文化財
2	百武 兼行	臥裸婦	油彩・画布	97.3×188.0	1881頃	
3	黒田 清輝	針仕事	油彩・画布	81.2×65.0	1890	
4	黒田 清輝	ブレハの少女	油彩・画布	81.0×54.0	1891	
5	黒田 清輝	鉄砲百合	油彩・画布	60.3×80.0	1909	
6	浅井 忠	グレーの古橋	水彩・紙	28.4×44.9	1901	
7	浅井 忠	グレーの洗濯場	油彩・画布	33.0×45.5	1901	
8	藤島 武二	天平の面影	油彩・画布	197.5×94.0	1902	
9	藤島 武二	自画像	油彩・画布	46.0×33.4	1903	
10	藤島 武二	ヴェルサイユ宮殿	油彩・画布	72.4×91.0	1906～07	
11	藤島 武二	池畔の女	油彩・板	28.4×30.4	1908～09	
12	藤島 武二	ヴィラ・デステの池	油彩・ボード	23.8×32.7	1908～09	
13	藤島 武二	糸杉	油彩・ボード	32.8×23.9	1908～09	
14	藤島 武二	黒扇	油彩・画布	63.5×42.5	1908～09	
15	藤島 武二	唐様三部作	グワッシュ・紙	77.0×123.4	1912頃	
16	藤島 武二	五剣山の日の出	油彩・画布	52.8×72.6	1932	
17	藤島 武二	奈良風景	油彩・画布	52.8×45.2	1934	
18	藤島 武二	琉球の女	パステル・水彩・紙	38.3×28.02	1936	
19	藤島 武二	蒙古の日の出	油彩・画布	40.9×53.0	1937	
20	藤島 武二	チョコチャラ	油彩・画布	45.0×38.0	1908～09	
21	岡田三郎助	薔薇の少女	油彩・画布	119.2×79.0	1901	
22	岡田三郎助	臥裸婦	油彩・画布	44.8×91.8	1901	
23	岡田三郎助	婦人像	油彩・画布	73.0×61.0	1907	
24	岡田三郎助	髪梳く女	油彩・画布	60.3×45.3	1915	

番号	作者名	作品名	材質	大きさ (cm)	制作年	備考
25	岡田三郎助	水浴の前	油彩・画布	197.0×76.2	1916	重要文化財
26	中沢 弘光	思い出下図	油彩・画布	69.4×35.0	1909	
27	満谷国四郎	坐婦	油彩・画布	65.0×55.0	1913	
28	満谷国四郎	ブルターニュ風景	油彩・画布	46.5×55.3	1913	
29	満谷国四郎	蕉山	油彩・画布	45.3×52.9	1924	
30	満谷国四郎	裸婦	油彩・画布	72.5×60.3	1925	
31	和田 英作	読書	油彩・画布	73.6×54.0	1902	
32	和田 英作	チューリップ	油彩・画布	80.3×65.0	1927	
33	和田 英作	早春 (富士)	油彩・画布	52.7×65.0	1939	
34	吉田 博	上高地	油彩・画布	45.3×60.3	1927頃	
35	吉田 博	ウダイプール宮殿	油彩・画布	33.0×45.4	1931	
36	吉田 博	奔流	油彩・画布	96.8×130.5	1936	
37	小杉 未醒	山幸彦	油彩・画布	192.0×295.0	1917	
38	青木 繁	自画像	油彩・画布	80.5×60.5	1903	
39	青木 繁	閻魔弥尼	水彩・板	14.7×10.3	1903	
40	青木 繁	輪転	油彩・画布	26.8×37.8	1903	
41	青木 繁	春	水彩・紙	17.0×33.7	1904	
42	青木 繁	丘に立つ三人	水彩・紙	16.2×13.7	1904	
43	青木 繁	海	油彩・板	10.3×14.7	1904	
44	青木 繁	海の幸	油彩・画布	70.2×182.0	1904	
45	青木 繁	農家	油彩・板	23.3×33.0	1904	
46	青木 繁	木立 (森の暮色)	油彩・板	33.0×23.0	1904	
47	青木 繁	女の顔	油彩・板 (羽子板)	33.0×9.5	1904	
48	青木 繁	風景 (扇面)	水彩・絹	15.6×51.2	1904	
49	青木 繁	海景 (布良の海)	油彩・画布	35.0×71.5	1904	
50	青木 繁	天平時代	油彩・画布	46.0×76.5	1904	
51	青木 繁	水浴	水彩・紙	18.3×34.0	1904～05	
52	青木 繁	光明皇后	油彩・画布	37.6×71.0	1905	
53	青木 繁	大穴牟知命	油彩・画布	75.0×127.0	1905	
54	青木 繁	雪景	油彩・板	23.3×32.8	1906	
55	青木 繁	狂女	水彩・紙	29.1×15.4	1906	
56	青木 繁	わだつみのいろこの宮	油彩・画布	181.5×70.0	1907	重要文化財
57	青木 繁	月下滞船図	油彩・画布	42.5×60.0	1908	
58	青木 繁	春	水彩・襖布	D. 44.3	1908	
59	青木 繁	秋	水彩・襖布	D. 44.4	1908	
60	坂本繁二郎	魚を持って来た海女	油彩・画布	117.0×80.6	1913	
61	坂本繁二郎	静物	油彩・画布	45.0×60.5	1918	
62	坂本繁二郎	牛	油彩・画布	71.0×116.5	1920	
63	坂本繁二郎	少女	油彩・画布	40.8×32.8	1922～23	
64	坂本繁二郎	読書の女	油彩・画布	40.8×31.7	1923	
65	坂本繁二郎	帽子を持てる女	油彩・画布	80.7×65.0	1923	
66	坂本繁二郎	バリ効外	油彩・画布	53.0×65.0	1923	
67	坂本繁二郎	自画鏡像	油彩・紙	45.5×37.5	1929	
68	坂本繁二郎	自像	油彩・画布	52.5×45.0	1923～30	
69	坂本繁二郎	牧場三馬	油彩・画布	79.6×99.0	1932	

番号	作 者 名	作 品 名	材 質	大 き さ (cm)	制作年	備 考
70	坂本繁二郎	柿	油彩・画布	45.3×52.5	1944	
71	坂本繁二郎	林檎・蜜柑・柿	油彩・画布	32.5×41.5	1958	
72	石井 柏亭	ソレント	油彩・画布	45.7×55.0	1923	
73	石井 柏亭	傘松	油彩・画布	49.6×60.4	1923	
74	金山 平三	石母田の堤	油彩・画布	40.9×53.0	不詳	
75	辻 永	ハルピンの春	油彩・画布	33.3×45.5	1917	
76	辻 永	春（パリ効外）	油彩・画布	53.2×72.6	1921	
77	青山 熊治	男の像	油彩・画布	90.6×60.5	1921	
78	藤田 嗣治	ドルドーニュの家	油彩・画布	45.0×53.0	1940	
79	藤田 嗣治	人形を抱く子供	墨・淡彩・紙	43.3×52.5	1948	
80	藤田 嗣治	室内	油彩・画布	37.5×45.2	1943頃	
81	小出 檣重	裸婦	油彩・画布	70.0×46.0	1925	
82	小出 檣重	帽子をかぶった自画像	油彩・画布	125.7×91.3	1924	
83	安井曾太郎	水浴裸婦	油彩・画布	128.0×193.0	1914	
84	安井曾太郎	ばら	油彩・画布	62.8×51.8	1932	
85	安井曾太郎	玉蟲先生像	油彩・画布	47.5×39.0	1934	
86	安井曾太郎	レモントメロン	油彩・画布	36.0×46.0	1955	
87	片多 徳郎	芙蓉	油彩・画布	45.5×37.8	1924	
88	長谷川利行	動物園風景	油彩・画布	45.5×52.7	1937頃	
89	長谷川利行	裸婦	油彩・画布	45.4×52.7	1938	
90	須田国太郎	櫛原風景	油彩・画布	65.2×80.0	1955	
91	児島善三郎	トレド風景	油彩・画布	50.2×100.0	1928頃	
92	児島善三郎	風景	水彩・紙	45.5×64.5	1951	
93	児島善三郎	海芋ときりん草	油彩・画布	91.0×72.9	1954	
94	古賀 春江	無題	油彩・画布	72.5×72.5	不詳	
95	古賀 春江	海水浴の女	油彩・画布	89.7×115.1	1923	
96	古賀 春江	誕生	油彩・画布	91.0×116.0	1924	
97	古賀 春江	静物	水彩・紙	38.7×51.0	1925	
98	古賀 春江	美しき博覧会	水彩・紙	38.5×57.0	1926	
99	古賀 春江	素朴な月夜	油彩・画布	116.5×91.0	1929	
100	古賀 春江	鳥籠	油彩・画布	111.2×145.0	1929	
101	古賀 春江	単純な哀話	油彩・画布	116.7×91.4	1930	
102	古賀 春江	涯しなき逃避	油彩・画布	116.2×90.8	1931	
103	古賀 春江	厳しき伝統	油彩・画布	111.2×144.0	1931	
104	古賀 春江	感傷の静脈	油彩・画布	116.7×90.8	1931	
105	佐伯 祐三	コルドヌリ	油彩・画布	72.6×60.3	1925	
106	佐伯 祐三	休息（鉄道工夫）	油彩・画布	59.4×71.3	1927	
107	佐伯 祐三	ガラージュ	油彩・画布	60.4×73.9	1927～28	
108	岸田 劉生	南瓜を持てる女	油彩・画布	80.0×60.2	1914	
109	梅原龍三郎	脱衣婦	油彩・画布	60.0×38.0	1912	
110	岡 鹿之助	雪の発電所	油彩・画布	72.7×90.9	1956	

3 催 物 展

(1) 川と池の自然のくらし

会 期 平成2年11月23日(金)～12月16日(日)

会 場 第2展示室

「ふるさとの川と池」「川や池の生きものたち」「川や池のくらし」「川と池への願い」の4つのテーマにより、川や池の自然と人びとのくらしについて展示・紹介した。

<主な展示資料>

プランクトン類（ミジンコの仲間など）、ゲンゴロウ、ワタカ、ボラ、カラスガイ、マガモ、アオサギ、^{ツグ}筌、タモ網、ジョレン等漁具類、漁船（カンコ、コバヤ）、エビス神像

(2) 第33回日本伝統工芸中国支部展

会 期 平成2年9月22日(土)～9月30日(日)

会 場 第3展示室

日本工芸会中国支部の会員及び一般応募者の伝統工芸作品（陶芸、染織、木工芸、漆芸等）95点を展示した。

4 教育・普及活動

(1) 巡 回 展

展 示 テ ー マ	会 期	会 場	入場者数
地球の歴史と生物の進化	2. 4. 11 ~ 2. 5. 20	西伯町歴史民俗資料館	1,464 ^人
	2. 7. 4 ~ 2. 7. 8	泊 村 中 央 公 民 館	350
	2. 7. 18 ~ 2. 7. 22	江府町山村開発センター	421
	2. 11. 6 ~ 2. 11. 11	福 部 村 中 央 公 民 館	1,723
昔 の 道 具 と く ら し	2. 10. 14 ~ 2. 10. 21	青 谷 町 中 央 公 民 館	260
	2. 11. 1 ~ 2. 11. 5	淀 江 町 中 央 公 民 館	2,000
	2. 11. 17 ~ 2. 11. 25	羽 合 町 中 央 公 民 館	502
	3. 2. 2 ~ 3. 3. 28	北条町歴史民俗資料館	545
計		(8 か 所)	7,265

(2) 天体観望会・見学会

事 業 名	期 日	場 所	参加人員
歴 史 と 民 俗 を 訪 ね る 会	2. 4. 22	気 高 町	42 ^人
春 の 星 を 見 る 会	2. 5. 5	博 物 館 前 庭	85
野 鳥 の 声 を 聞 く 会	2. 5. 13	鳥 取 市	125
夏 の 星 を 見 る 会 (1)	2. 7. 21	博 物 館 前 庭	80
地 質 見 学 会	2. 8. 5	国 府 町	30
夏 の 星 を 見 る 会 (2)	2. 8. 25	博 物 館 前 庭	90
秋 の 星 を 見 る 会	2. 10. 20	〃	50
計			502

(3) 講 演 会

演 題	講 師	期 日	参加人員
日 本 画 に つ い て	日 本 芸 術 院 会 員 家 濱 田 台 兒 氏	2. 4. 28	185 ^人
弥 生 時 代 と 現 代	奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター部長 佐 原 眞 氏	2. 7. 28	240
稲作文化の起源と伝来	国立民族学博物館 第 二 研 究 部 長 佐々木高明氏	2. 8. 18	200
日本近代洋画のあけぼの	ブリヂストン美術館 館 長 嘉 門 安 雄 氏	2. 10. 6	130
計			755

(4) 講 座

事 業 名	期 日	参加人員
美術講座 前田寛治の素描について	2. 6. 2	35 人
“ 前田寛治の油彩について	2. 6. 23	16
“ 郷土の古美術・鳥取県の十一面観音	2. 7. 21	18
自然講座 海そう標本の作り方	2. 8. 1	35
“ 昆虫標本の作り方	2. 8. 1	16
人文講座 弥生の土笛を作ろう	2. 8. 5	42
	2. 8. 19	40
“ 鳥取県の弥生文化	2. 8. 11	19
“ 草木で染める	2. 8. 12	35
自然講座 標本を調べる会	2. 8. 24	92
美術講座 郷土の古美術・誕生仏と涅槃図	2. 9. 15	31
“ 近代美術の動向・昭和10年代の鳥取	2. 11. 17	30
郷土史講座 鳥取藩政史あれこれ（講師 河手龍海氏）	2. 11. 18	57
人文講座 鳥取県の潟文化を考える	2. 11. 24	16
美術講座 版画の技法と鑑賞	2. 12. 1	11
	2. 12. 8	11
自然講座 春の七草を調べる会	3. 1. 6	28
計		532

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出し先	貸付けの目的
「寒山」ほか	3	陶彫 辻 晉堂 作	2. 5.16 ～ 2. 9.20	世 界 陶 芸 会 実 行 委 員 会	特別展「土の発見現代陶芸と原始土器」
「棟梁の家族」 ほか	3	油彩 前田寛治 作	2. 6.25 ～ 2. 8.10	新 美 術 博 物 館	特別展 大正の洋画展
化石標本ほか	84		2. 8.17 ～ 2. 8.28	西伯町教育委員会	生物・化学おしば 展
「引田芳蔵氏像」 ほか	23	油彩 前田寛治 作	2. 9.28 ～ 2.11. 8	石 橋 美 術 館	前田寛治展
「春園曉露図」	1	三枝真洞 作	3. 3.22 ～ 3. 5.21	奈 良 県 美 術 館	特別展 大和の近世美術
「裸婦」ほか	2	ブロンズ 早川巍一郎作	3. 3.29 ～ 3. 5.25	倉 吉 博 物 館	特別展 早川巍一郎遺作展
合 計	116				

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
動物	鳥取市百谷における夜間に活動する昆虫についての調査 鷲峰山南西渓流域の昆虫についての調査
植物	福部村清内谷のキノコについての調査 鷲峰山で採集した植物についての調査
地学・動物・植物	特別展「マンモスと人類の時代」関係資料の調査研究
考古	鳥取県内出土の装飾太刀についての調査研究 鳥取県内出土の押型文土器についての調査研究
歴史	池田慶徳公伝に関する調査研究 鳥取藩の御建山に関する調査研究
民俗	鳥取県東部地方の“ナレズシ”についての調査研究 鳥取県の民間信仰に関する調査研究 鳥取県民俗学史についての調査研究
美術	前田寛治をはじめとする近代郷土作家の作品研究 近代日本洋画についての調査研究 藩政時代の絵師に関する調査

(2) 研究報告等々の刊行

刊行物の名称	発行時期	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館第36巻第1号	9月	1,000部	A 5	32 ^{ページ}
郷土と博物館第36巻第2号	3	1,000	A 5	32
資料調査報告書第18集	3	300	B 5	28
研究報告書第28号	3	500	B 5	72
所蔵目録40(民俗5)	3	500	A 5	32
博物館年報No. 18	3	400	B 5	46
博物館だよりNo. 49～52	年4回	各2,000	B 5	4